

## 指定管理者管理運営状況評価（案）

施 設 名	千葉県袖ヶ浦福祉センター
指 定 管 理 者	社会福祉法人千葉県社会福祉事業団
指 定 管 理 期 間	平成 23 年度～平成 27 年度
評 価 対 象 年 度	平成 26 年度
第三者評価の有無（今回）	有
施 設 所 管 課	健康福祉部障害福祉課

### 1 施設の設置目的等

設 置 目 的	知的障害者及び知的障害児の福祉の向上
指定管理者が行う業務の範囲	① 障害者支援施設の業務 ② 福祉型障害児入所施設の業務 ③ 外来患者の診療及び訓練 ④ その他センターの目的を達成するために知事が必要と認める業務

### 2 施設の運営状況

年度	利用者（人） ※ 1	事業費等の内訳（千円）					
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B)※ 2	利用料金 (C)	事業費総額 (A+B+C)	使用料等 県収入(D)	県の収支 (D-A-B)
24	72,442	759,561	0	686,106	1,445,667	1,933	△757,628
25	73,862	766,374	46,194	739,514	1,552,082	1,937	△810,631
26	69,972	780,485	60,988	673,994	1,515,467	2,036	△839,437

※1 カウント方法：入所、短期入所、日中一時支援、通所及び通院の延人数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれるものを除く）

### 3 管理運営状況評価

評 価 項 目		評価	評 価 理 由 等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A	・平成 26 年度から、虐待防止委員会に外部の支援に精通した者や家族代表を登用し、職員との懇談会を実施する等、人権擁護・虐待防止体制の強化に向け、継続的に取り組んでいる。
	安全性の確保	A	・現場の職員会議から理事会など様々な会議や委員会において事故等の発生状況を共有して、再発防止策等についても検討するなど、継続的に取り組んでいる。
	適切な管理運営	A	・器物破損の修理及び老朽化による部品の交換や更新等、施設を効率的に運営するための改修などを実施している。 ・生活空間にそぐわないネットの撤去や行事時の写真の掲示等により、保護者等が訪れやすい雰囲気・生活空間の構築に努めている。
	適切な財産管理	A	・備品の適正な管理に努めている。
事業の企	事業の実施（必須事業）	B	・利用者の移行に向けた仕組みづくりの検討や移行の適正さ

評 価 項 目		評価	評 価 理 由 等
画運営に関する事項			を担保するため、外部有識者等も参加する移行ワーキングチームを設置し、移行の推進に取り組んでいる。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別（入所）支援計画作成やモニタリングに保護者や医療職等が参加するよう努めている。</li> <li>・保護者との連携強化、保護者への情報発信の充実に努めている。</li> </ul>
施設利用状況に関する事項		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育園の利用者人数は 843 人・利用率は 87.8%、更生園の利用者人数は 1,041 人・利用率は 97.5%。</li> <li>・定数半減を目指すとした検証委員会の提言を受け、県の方針として新規受入れを停止したことにより、利用率は低下している。</li> </ul>
管理運営体制		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援職員の配置など、応援・協力体制の充実に努めている。</li> <li>・グループディスカッションの実施や施設長の巡回時の職員との対話などにより、風通しのいい職場環境の構築に努めている。</li> <li>・医療職と支援員の連携が進んでいる。</li> </ul>
収支状況		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の新規受入れを停止しているが、平成 26 年度は収支の均衡を確保した。</li> </ul>
利用者意見の反映 利用者満足度		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの項目で保護者が満足を感じる割合の増加、又は不満を感じる割合の減少がみられ、「最近 1 年間でのサービスの質の向上」を約 7 割の保護者が評価している。</li> </ul>
総 合 評 価		一部良好でない	

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○役員の一斉や施設長等の現場巡回等、支援に精通した幹部役職員が現場を把握して様々な見直しに取り組んでいる。</li> <li>○グループディスカッション等により、職員同士が意見交換しやすい雰囲気の醸成に努めている。</li> <li>○医療職と支援員の連携が進んでいる。</li> <li>○アンケート（満足度調査）において、昨年度と比較して多くの項目で保護者が満足を感じる割合の増加、又は不満を感じる割合の減少がみられ、「最近 1 年間でのサービスの質の向上」を約 7 割の保護者が評価している。</li> </ul>
	次年度に向けて改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期ビジョンに基づく個別支援計画の作成並びに支援への反映、また、地域移行も考慮した支援に引き続き取り組むこと。</li> <li>○更生園については保護者会活動の活性化やセンターとの連携が進んでいるが、養育園については更生園ほど進んでいないため、保護者への情報発信や関係の強化に向け、更に工夫できないか検討すること。</li> <li>○利用者の民間施設・地域への移行に向けた取組みの強化を検討すること。</li> </ul>

	<p>前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況</p>	<p>昨年度改善を要するとして指摘した５点（人材育成・人事配置・研修の不備、虐待防止体制の機能不全、医療支援体制の未整備、報告・連絡・相談体制の不備、情報共有の機能不全）については一定の改善がなされ、現在も継続的に改善が図られている。</p> <p>今後も、外部・地域との連携を強化して開かれた施設とし、サービスの質の向上と支援の充実に努めるとともに、利用者の民間施設・地域への移行の取組みの推進に努めること。</p>
--	------------------------------------	---

<p>第三者評価における その他の意見</p>	<p>（第三者評価を実施した場合）</p> <p>○職員は改善に向け頑張っているので、管理者は先頭に立って職員を励まし続け、職員が希望をもって利用者のよりよい暮らしを支えられるよう努めること。</p> <p>○ロールプレイングは職員の理解を深める上で有効であり、既に一部実施しているが、研修時等での拡充を検討すること。</p> <p>○利用者の外出機会の確保等に努めていることはよいが、外出の目的（利用者の暮らしの楽しみ、他の施設や地域へ移行する上での試行的意味合い等）が支援員に共有されていないので、それぞれ異なる利用者個々のニーズの実現という目的に向け、どういった支援を行うのか、理解の共有を図ること。</p> <p>○勤務体制等を精査し、利用者の食事や入浴等の暮らしの時間割を、可能な限り一般家庭の生活時間に近づけることができないか検討すること。</p> <p>○保護者との関係強化に取り組んで連携も深まっているが、リーダー職員等のみでなく、広く職員が家族と関係を深められるよう取り組むこと。</p> <p>○満足度調査において、地域の福祉サービスや制度変更に関する情報提供に関する項目を充実させるなど、利用者・保護者が地域移行等について様々な検討を行える機会を提供できているか確認するよう努めること。</p> <p>○利用者（特に障害の重い利用者）の思いを汲み取って、意思決定支援の充実を図り、権利擁護の視点から、職員が利用者の代弁者としての役割も果たせるよう努めること。</p> <p>○言語での意思表示が困難な利用者を支援する施設としての特性を踏まえ、苦情解決制度を前向きに捉えて、実質的に活用できるよう運用面での創意・工夫に努めること。</p>
-----------------------------	---